

平成28年度 文部科学省委託
「幼児教育の推進体制構築事業」

地域の幼児教育の拠点となる幼児教育センターの 設置及び「幼児教育アドバイザー」の 育成・配置に関する調査研究

実施報告書



平成29年3月

広島市教育委員会

目次

■ 地域の幼児教育の拠点となる幼児教育センターの設置及び「幼児教育アドバイザー」の育成・配置に関する調査研究

| | |
|-------|----|
| 趣旨 | 1 |
| 目的 | 2 |
| 内容 | 4 |
| 成果と課題 | 11 |

< 資料 >

| | | |
|---------|---------------------------------------|----|
| ◇ 資料 1 | 市立幼稚園 拠点園の役割と機能 | 15 |
| ◇ 資料 2 | 本市の幼児教育（幼稚園・保育園・認定こども園等）の現状・課題と今後の方向性 | 16 |
| ◇ 資料 3 | 幼児教育の推進体制構築事業にかかる体制イメージ図 | 17 |
| ◇ 資料 4 | 幼児教育の推進体制構築に向けた懇談会開催要綱 | 18 |
| ◇ 資料 5 | 幼児教育の推進体制構築に向けた懇談会議事要旨 | 19 |
| ◇ 資料 6 | 広島市幼児教育支援協議会設置要綱 | 30 |
| ◇ 資料 7 | 研修に関する連絡協議会開催要綱 | 32 |
| ◇ 資料 8 | 研修に関する連絡協議会開催概要 | 33 |
| ◇ 資料 9 | 幼児教育アドバイザー設置要綱 | 35 |
| ◇ 資料 10 | 幼児教育アドバイザー実施要領 | 36 |
| ◇ 資料 11 | 幼児教育アドバイザー訪問依頼書 | 37 |
| ◇ 資料 12 | 幼児教育アドバイザー訪問実施報告書 | 38 |
| ◇ 資料 13 | 平成 28 年度幼児教育アドバイザー一覧 | 39 |
| ◇ 資料 14 | 平成 28 年度幼児教育アドバイザー派遣案内 | 40 |
| ◇ 資料 15 | 幼児教育アドバイザー訪問実施報告書（抜粋） | 41 |
| ◇ 資料 16 | 広報ひろしま「市民と市政」（平成 29 年 2 月 15 日号） | 44 |
| ◇ 資料 17 | 幼稚園教諭・保育士等の研修分類 | 45 |
| ◇ 資料 18 | 幼稚園教諭・保育士等の新規採用者研修分類（案） | 47 |
| ◇ 資料 19 | 平成 29 年度 広島市における幼稚園教諭・保育士等の研修体系図（案） | 49 |
| ◇ 資料 20 | 平成 28 年度の論点整理（たたき台） | 50 |
| ◇ 参考資料 | 幼児教育の推進体制構築事業委託要項 他 | 51 |

趣 旨

本市では、「世界に誇れる『まち』の実現に向けて」（平成 23 年 12 月策定）に基づき、誰もが安心して子どもを生み育て、学校教育・保育を受けさせたいと思う「まち」にするため、特に幼児期の教育・保育施設等において更なる子育て支援及びより質の高い幼児教育を実践し、全ての幼児に「豊かな感性」「他人を思いやる心」の育成を目指すこととしている。

こうしたことから、平成 28 年 6 月、文部科学省から「幼児教育の推進体制構築事業」の委託を受け、幼稚園、保育園、認定こども園、小学校との連携や相互理解を図りながら、本市の子どもの幼児期から児童期への円滑な接続と幼児期にふさわしい教育環境の整備を目指して、施策展開を図ることとした。平成 28 年 9 月には、「幼児教育支援協議会」を設置し、本市の幼児教育の中核的な役割を担える広島市ならではの「幼児教育センター」のあり方の検討に着手するとともに、幼稚園、保育園、認定こども園、小学校等の一体的な研修の推進や各園の実情に応じた支援を行う「幼児教育アドバイザー」を育成・配置することにより、幼児教育推進体制の構築の更なる充実を図ることとした。

調査研究 1 年目となる平成 28 年度の主な成果としては、関係部局や私立幼稚園、私立保育園の関係団体等と活発な協議が繰り返され、公立・私立の幼稚園、保育園、認定こども園等において、「幼児教育アドバイザー」の姿や役割についての共有化が図られたことがある。平成 29 年 1 月以降に「幼児教育アドバイザー」の派遣回数が増加したことからこのことが実証されている。

一方で、派遣回数の増加に伴い、「幼児教育アドバイザー」をより効果的に各園に派遣するための教育委員会のコーディネーター機能の充実が求められていることから、今後はこうした課題を解決できる機能を考慮し、本市ならではの幼児教育センター機能の検討を進めていく必要がある。

目的

広島市では平成13年に、子どもたちを「心身ともにたくましく、思いやりのある人」として育成することを教育の基本理念とする「21世紀教育改革推進総合プラン」を策定し、「新しい教育の推進」に取り組んできた。特に幼児期については、生涯にわたる人間形成が培われる極めて重要な時期であることから、「豊かな感性」と「他人を思いやる心」の育成を基本的な考え方に掲げ、幼児教育を推進してきた。

こうした中、「広島らしい就学前教育・保育のあり方」の確立に向けて、平成16年9月に、有識者、幼稚園関係者、保育園関係者などを構成員とする「幼稚園と保育園のよりよい連携のあり方検討委員会」を設置して、「幼稚園と保育園の連携のあり方」や「小学校教育への円滑な移行のための就学前教育の充実」について検討を始め、平成17年3月には、同検討委員会から、

- 幼稚園と保育園の新たな関係
- 今後の市立幼稚園のあり方
- 就学前教育・保育の充実

の三つの視点で、具体的な取組や方策等の提言を受けた。

この提言に基づき、平成20年1月に「幼稚園と保育園の連携による就学前教育・保育推進計画」を策定し、

- 就学前教育・保育プログラムの策定・普及
- 幼稚園、保育園と小学校との連携の推進
- 家庭、地域社会に対する子育て支援機能の充実

など、幼児教育の充実のための取組を進めてきた。

【これまでの取組】

- 平成7年度 「幼児のひろば推進事業」（各園での就学前の親子に遊び場や機会を提供）
- 平成14年度 「広島市幼稚園教育懇話会」の開催
（公立幼稚園長会と私立幼稚園協会との合同会議）
- 平成15年度 「就学前教育と小学校の連携に関する総合的調査研究」実施（～平成16年度）
- 平成16年度 「幼稚園と保育園のよりよい連携のあり方検討委員会」設置
「公立の幼稚園と保育園における人事交流」、「保育士体験研修」を開始
- 平成17年度 「幼保小連携推進委員会」の設置（平成19年度～全小学校区設置）
「合同研修会」「園へ行こう週間」の実施
- 平成19年度 「幼稚園と保育園の連携による就学前教育・保育推進計画」の策定
「広島市就学前教育・保育プログラム」の策定
- 平成21年度 「広島市立幼稚園のあり方に関する検討のまとめ」策定
- 平成22年度 「広島市立幼稚園の今後の方向性」策定

また、平成 24 年度からは公立幼稚園の 6 園を「幼児教育に関する先駆的な調査研究等の拠点となる幼稚園」（以下「拠点園」という。）に位置づけ、今日的課題に対応した次の 6 つのテーマに基づき研究実践を行い、普及に努めている。

- 「幼児教育の情報発信」
- 「幼保小連携推進」
- 「特別支援教育の推進」
- 「三者（地域、家庭、幼稚園）の連携」
- 「親育ち支援」
- 「教員の資質向上」

さらに、子どもの発達や学びは、幼稚園、保育園、認定こども園等の就園前における家庭や地域社会での生活を通じた発達から、幼稚園、保育園等での教育・保育を通じた学び、さらには小学校以上の学習へと円滑につながっていくことが必要であり、そのためには、幼児期を中心としながら、就学前教育・保育の全体を視野に入れた施策展開が必要となる。また、保護者ニーズの多様化、子どものコミュニケーション能力の低下と基本的な生活習慣の欠如、家庭や地域社会の教育力の低下といった課題への対応や、特別支援教育及び小学校との円滑な接続に対するきめ細やかな支援が求められている。

「幼児教育の推進体制構築事業」では、幼稚園、保育園、認定こども園、小学校との連携や相互理解を図りながら、本市の子どもの幼児期から児童期への円滑な接続と幼児期にふさわしい教育環境の整備を目指して、施策展開を図ることとしている。このため、「幼児教育支援協議会」を設置し、本市の幼児教育の中核的な役割を担える広島市ならではの「幼児教育センター」の在り方について検討するとともに、幼稚園、保育園、認定こども園、小学校等の一体的な研修の推進や各園の実情に応じた支援を行う「幼児教育アドバイザー」を育成・配置することにより、幼児教育推進体制の構築の更なる充実を図ることとした。

-
- ◇ 資料 1 市立幼稚園 拠点園の役割と機能 p. 15
 - ◇ 資料 2 本市の幼児教育（幼稚園・保育園・認定こども園等）の現状・課題と今後の方向性 p. 16
 - ◇ 資料 3 幼児教育の推進体制構築事業にかかる体制イメージ図 p. 17

内容

(1) 「幼児教育の推進体制構築に向けた懇談会」(調査研究実行委員会)の設置

幼児教育の推進体制構築事業の円滑な推進に当たり、専門的見地から幅広く意見を聴取するため、学識経験者、教育関係者、関係団体代表者、行政関係者で構成する「幼児教育の推進体制構築に向けた懇談会」(以下「懇談会」という。)を開催し、次の事項について、広く意見を聴取した。

- ア 地域の幼児教育の拠点となる幼児教育センターの設置に関すること。
- イ 「幼児教育アドバイザー」の育成・配置に関すること。
- ウ その他幼児教育の推進体制構築に関すること。

【構成員】(◎ 座長)

| 名 前 | 役 職 等 |
|---------|-----------------------------|
| ◎朝倉 淳 | 広島大学大学院 教育学研究科 教授 |
| 徳永 隆治 | 安田女子大学 教育学部 児童教育学科 教授 |
| 渡邊 英則 | 認定こども園 ゆうゆうのもり幼保園 園長 |
| 松尾 竜 | 広島市私立保育園協会 理事長 (第二みみょう保育園長) |
| 米川 晃 | 広島市私立幼稚園協会 理事長 (青葉幼稚園長) |
| 大田 恵里子 | 広島市保育園長会 代表 (鈴峰園保育園長) |
| 合原 晶子 | 広島市立幼稚園長会 会長 (矢賀幼稚園長) |
| 重田 小百合 | 広島市小学校長会 代表 (福木小学校長) |
| 谷川 昌行 | こども未来局 保育企画課長 |
| 佐々木 智恵子 | こども未来局 保育指導課 保育園運営指導担当課長 |
| 西原 寛行 | 教育委員会事務局 教育企画課長 |
| 松浦 幸雄 | 教育委員会事務局 学校教育部 指導第一課長 |
| 児玉 安司 | 教育委員会事務局 学校教育部 特別支援教育課長 |
| 住吉 磨 | 教育センター次長 |

【開催状況】

- 第1回 平成28年 8月26日(金) 15:00 ~ 16:50
- 第2回 平成28年 11月11日(金) 9:00 ~ 11:10
- 第3回 平成28年 12月16日(金) 10:00 ~ 11:40
- 第4回 平成29年 2月7日(火) 15:30 ~ 17:00

-
- ◇ 資料4 幼児教育の推進体制構築に向けた懇談会開催要綱 p.18
 - ◇ 資料5 幼児教育の推進体制構築に向けた懇談会議事要旨 p.19~p.29

【幼児教育の推進体制構築に向けた懇談会】



【座長 朝倉教授】

【渡邊園長】

(2) 「幼児教育支援協議会」の設置

教育委員会事務局とこども未来局との連携・協働により、幼児教育センターとしての機能を担う協議会を設置し、次の事項について調査研究を行った。

- ア 本市に必要な幼児教育センター機能と役割について
- イ 幼稚園教員（保育教諭を含む）、保育士の資質・能力の向上に向けた体系的な研修について
- ウ 本市で求められる幼児教育アドバイザーの役割や活用促進に向けた方策について

【構成員】（◎は委員長 ○は副委員長）

| 名 前 | 役 職 等 |
|---------|--------------------------|
| ○谷川 昌行 | こども未来局 保育企画課長 |
| 佐々木 智恵子 | こども未来局 保育指導課 保育園運営指導担当課長 |
| ◎西原 寛行 | 教育委員会事務局 教育企画課長 |
| ○松浦 幸雄 | 教育委員会事務局 学校教育部 指導第一課長 |
| 児玉 安司 | 教育委員会事務局 学校教育部 特別支援教育課長 |
| 山崎 哲男 | 教育委員会事務局 学校教育部 生徒指導課長 |
| 住吉 磨 | 教育センター次長 |

【開催状況】

- 第1回 平成28年10月26日（水） 10：00 ～ 11：00
- 第2回 平成28年12月9日（金） 9：30 ～ 10：30
- 第3回 平成29年1月5日（木） 11：00 ～ 12：00
- 第4回 平成29年2月1日（水） 16：00 ～ 17：00

① 幼児教育センター機能と役割についての検討

- 先進地の視察により、必要な機能や役割について情報を収集
- 本事業を推進する上で生じている課題等から、本市の幼児教育センターに必要な機能と役割を検討

- 【視察地】 群馬県幼児教育センター 平成 28 年 10 月 27 日（木）
 前橋市幼児教育センター 平成 28 年 10 月 27 日（木）
 栃木県幼児教育センター 平成 28 年 10 月 28 日（金）
 福井県幼児教育支援センター 平成 28 年 11 月 22 日（火）
 北九州市教育委員会幼児教育支援室 平成 29 年 1 月 12 日（木）

- 教育委員会、こども未来局の連携・協働体制の強化
 - ワーキング会議の開催や担当者間での日常的な報告・連絡・相談を実施
- 私立幼稚園及び保育園等連盟との連携体制の構築
 - 関係団体の代表者から様々な場面で意見聴取を行うとともに、関係団体への丁寧な事業説明を実施
- 市立幼稚園拠点園と公立保育園幹事園による協働体制組織の構築
 - 関係団体の代表者から様々な場面で意見聴取を行うとともに、関係団体への丁寧な事業説明を実施

② 幼稚園教員（保育教諭を含む）、保育士の資質・能力の向上に向けた体系的な研修計画の策定に向けた検討

本市全体の幼児期の教育・保育の質の向上に向け、幼稚園教諭、保育士、保育教諭に対する一体的な研修体系の構築、幼児教育アドバイザーに対する研修等について、専門的な見地から幅広く意見を聴取するため、「研修に関する連絡協議会」を開催し、次の事項について、広く意見を聴取した。

- ア 幼児教育・保育の内容・指導方法の向上等の研修に関する事
- イ 幼稚園教諭・保育士・保育教諭や幼児教育アドバイザーに対する研修に関する事
- ウ その他幼児教育・保育の研修に関する事

- 平成 29 年度から幼児教育・保育に携わる新規採用者が一堂に会する研修を実施し、本市の幼児教育・保育の理解を深め、本市全体の幼児期の教育・保育の質の向上を図る。

【構成員】

| 名 前 | 役 職 等 |
|--------|--------------------------|
| 山崎 晃 | 広島文化学園大学学芸学部 学部長 教授 |
| 伊藤 唯道 | 広島市私立保育園協会 副理事長（順正寺保育園長） |
| 清川 里佳 | 広島市私立幼稚園協会 副理事長（ひろみ幼稚園長） |
| 栗栖 直子 | 広島市保育園長会 幹事代表（わかくさ保育園長） |
| 井筒 敦子 | 広島市立幼稚園長会 代表（山本幼稚園長） |
| 小田 憲吾 | こども未来局 保育企画課 課長補佐 |
| 大門 句三江 | こども未来局 保育指導課 主幹 |
| 舟津 有紀 | 教育委員会事務局 教育企画課 課長補佐 |
| 寺川 勇一 | 教育委員会事務局 教育企画課 主査 |

| | |
|-------|-----------------------------|
| 岡崎 貴弘 | 教育委員会事務局 学校教育部 指導第一課 課長補佐 |
| 竹内 美貴 | 教育委員会事務局 学校教育部 指導第一課 主任指導主事 |
| 横山 善規 | 教育委員会事務局 学校教育部 特別支援教育課 課長補佐 |
| 末本 学 | 教育委員会事務局 学校教育部 生徒指導課 指導主事 |
| 宅見 雄二 | 教育センター 主任指導主事 |

【開催状況】

- 第1回 平成28年10月6日(木) 15:00 ~ 16:30
- 第2回 平成28年11月21日(月) 15:00 ~ 16:30
- 第3回 平成28年12月20日(火) 15:00 ~ 16:30
- 第4回 平成29年1月24日(火) 15:00 ~ 16:30
- 第5回 平成29年3月6日(月) 15:00 ~ 16:30

③ 幼児教育アドバイザーの人選・活用

- 15名の幼児教育アドバイザーを委嘱し、各園のニーズに応じて派遣できる体制をとっている。15名のアドバイザーは、幼児教育の知識と経験豊富な大学教授や幼稚園、保育園の元園長、教育委員会の元指導主事等である。また今年度は、求められる幼児教育アドバイザーの役割等を広く把握するために15名以外の人材についても派遣できる体制をとっている。
- 幼児教育アドバイザー連絡協議会を開催し、幼児教育アドバイザーの役割等についての共通理解や訪問に際しての留意点等を確認した。
- 様々なテーマに基づく派遣を行い、実施後には訪問園から提出された報告書等から幼児教育アドバイザー派遣に対するニーズ把握を行った。



【幼児教育アドバイザー連絡協議会】



【自由遊びの観察】



【園内研修】



【保護者への講演】

- ◇ 資料7 研修に関する連絡協議会開催要綱 p.32
- ◇ 資料8 研修に関する連絡協議会開催概要 p.33, p.34

【派遣状況】

| 回 | 実施日 | 公私 | 訪問先 | 訪問テーマ等 | 内容 | 対象・人数 |
|----|--------------------------|----|-----|--------------------------------|-------------|--------------------------|
| 1 | 11月4日(金) 12:50～15:50 | 公立 | 長束幼 | 教育・保育の内容・支援方法 保育者の資質向上 | 研修 | 職員6人 園児19人 |
| 2 | 11月8日(火) 9:00～10:00 | 公立 | 温品幼 | 保護者支援 | 講演 | 職員6人 保護者38人 |
| 3 | 11月10日(木) 13:00～16:00 | 公立 | 大町幼 | 保育者の資質向上 | 研修 | 職員5人 園児27人 |
| 4 | 11月18日(金) 14:30～16:30 | 公立 | 山本幼 | 教育・保育の内容・支援方法 保育者の資質向上 | 研修 | 職員9人 |
| 5 | 1月16日(月) 10:30～13:00 | 私立 | 青葉幼 | 教育・保育の内容・支援方法 保育者の資質向上 | 研修 | 職員1人 |
| 6 | 1月18日(水) 9:30～11:30 | 公立 | 基町幼 | 保護者支援 | 講演 | 保護者50人 |
| 7 | 1月19日(木) 9:00～12:30 | 私立 | 青葉幼 | 教育・保育の内容・支援方法 保育者の資質向上 | 研修 | 職員21人 |
| 8 | 1月24日(火) 9:00～12:30 | 私立 | 青葉幼 | 教育・保育の内容・支援方法 保育者の資質向上 | 研修 | 職員21人 |
| 9 | 1月24日(火) 9:30～12:30 | 公立 | 船越幼 | 教育・保育の内容・支援方法 保護者支援(幼児のひろば) | 保護者相談 | 職員7人 保護者20人 その他25人 |
| 10 | 1月31日(火) 9:00～12:00 | 公立 | 緑井幼 | 教育・保育の内容・支援方法 保護者支援 | 講演 | 職員7人 園児66人 保護者65人 |
| 11 | 1月31日(火) 9:30～11:30 | 公立 | 基町幼 | 教育・保育の内容・支援方法 | 研修 | 職員7人 園児47人 |
| 12 | 1月31日(火) 10:00～12:00 | 公立 | 戸坂保 | 保護者支援 | 研修 | 職員4人 園児25人 保護者1人 |
| 13 | 1月31日(火) 15:00～16:30 | 公立 | 長束幼 | 教育・保育の内容・支援方法 発達や学びの連続性 | 研修 | 職員6人 |
| 14 | 2月2日(木) 9:30～11:30 | 公立 | 基町幼 | 保護者支援 | 講演 | 保護者20人 |
| 15 | 2月3日(金) 15:00～17:00 | 公立 | 基町幼 | 保育者の資質向上 他 | 研修 | 職員5人 |
| 16 | 2月4日(土) 10:00～13:00 | 私立 | 青葉幼 | 保育者の資質向上 | 研修 | 職員21人 |
| 17 | 2月6日(月) 9:20～11:40 | 公立 | 大林保 | 保育者の資質向上 その他(わらべうた) | 研修 | 職員15人 園児106人 |
| 18 | 2月7日(火) 9:15～11:45 | 公立 | 緑井保 | 幼児教育・保育の研修 | 研修 | 職員20人 園児75人 |
| 19 | 2月7日(火) 9:30～12:00 | 公立 | 八木幼 | 教育・保育の内容・支援方法 保護者支援(幼児のひろば) | 保護者相談 研修 | 未就園児29人 保護者28人 |
| 20 | 2月7日(火) 11:30～14:00 | 公立 | 安西幼 | 教育・保育の内容・支援方法 保護者支援(幼児のひろば) | 保護者相談 研修 | 未就園児8人 保護者8人 |
| 21 | 2月8日(水) 13:00～16:00 | 公立 | 瀬野幼 | 保育者の資質向上 | 研修 | 職員5人 園児33人 |
| 22 | 2月8日(水) 18:30～20:30 | 公立 | 基町保 | 特別支援教育 | 研修 | 職員20人 その他10人 |
| 23 | 2月9日(木) 9:30～11:30 | 公立 | 中筋幼 | 教育・保育の内容・支援方法 保護者支援(幼児のひろば) | 保護者相談 研修 | 未就園児47人 保護者38人 |
| 24 | 2月10日(金) 9:00～12:00 | 公立 | 緑井幼 | 教育・保育の内容・支援方法 保護者支援(幼児のひろば) | 保護者相談 研修 | 未就園児9人 保護者9人 |
| 25 | 2月13日(月) 12:15～13:45 | 公立 | 中筋幼 | 保護者支援(幼児のひろば) | 保護者相談 | 未就園児21人 保護者14人 |
| 26 | 2月13日(月) 14:30～16:30 | 公立 | 安西幼 | 保育者の資質向上 幼児教育・保育の研修 | 研修 | 職員6人 |

| | | | | | | |
|----|-------------------------|----|-------------|--|-------------|------------------------------|
| 27 | 2月14日(火) 18:30~20:30 | 公立 | わかさ保 | 保育者の資質向上 | 研修 | 職員 50人 |
| 28 | 2月14日(火) 9:00~17:00 | 公立 | 基町幼 | 3歳児保育研究会 | 研修 講演 | 公立幼の 教職員他 |
| 29 | 2月15日(水) 10:30~13:30 | 公立 | 落合幼 | 教育・保育の内容・支援方法 保護者支援(幼児のひろば) | 保護者相談 研修 | 未就園児 13人 保護者 12人 |
| 30 | 2月15日(水) 9:30~11:30 | 公立 | 上緑井幼 | 教育・保育の内容・支援方法 保護者支援(幼児のひろば) | 保護者相談 研修 | 未就園児 31人 保護者 25人 |
| 31 | 2月15日(水) 9:30~16:00 | 公立 | 福木幼 | 保護者支援 教育・保育の内容・支援方法 保育者の資質向上 幼児教育・保育の研修 | 相談 研修 | 職員 7人 園児 43人 保護者 15人 |
| 32 | 2月16日(木) 9:00~12:00 | 公立 | 緑井幼 | 教育・保育の内容・支援方法 保護者支援(幼児のひろば) | 保護者相談 研修 | 未就園児 20人 保護者 18人 |
| 33 | 2月16日(木) 10:30~12:30 | 公立 | 川内幼 | 教育・保育の内容・支援方法 保護者支援(幼児のひろば) | 保護者相談 研修 | 未就園児 11人 保護者 10人 |
| 34 | 2月16日(木) 13:00~15:30 | 公立 | 川内幼 | 特別支援教育 | 研修 | 職員 5人 |
| 35 | 2月17日(金) 13:30~16:00 | 私立 | 第二 みみょう保 | 保育者の資質向上 | 研修 | 職員 60人 |
| 36 | 2月20日(月) 9:30~11:30 | 公立 | いずみ保 | 保育者の資質向上 幼児教育・保育の研修 | 研修 | 職員 10人 園児 52人 |
| 37 | 2月20日(月) 14:30~16:30 | 公立 | 大町幼 | 保護者支援 | 講演 | 職員 5人 園児 55人 保護者 50人 |
| 38 | 2月21日(火) 9:30~12:00 | 公立 | 八木幼 | 教育・保育の内容・支援方法 保護者支援(幼児のひろば) | 保護者相談 研修 | 未就園児 34人 保護者 34人 |
| 39 | 2月21日(火) 9:00~12:00 | 公立 | 緑井幼 | 教育・保育の内容・支援方法 | 保護者相談 研修 | 未就園児 27人 保護者 11人 |
| 40 | 2月23日(木) 9:30~12:30 | 公立 | 温品幼 | 教育・保育の内容・支援方法 保護者支援(幼児のひろば) | 保護者相談 研修 | 未就園児 15人 保護者 24人 |
| 41 | 2月23日(木) 18:30~19:30 | 公立 | 千同保 | 教育・保育の内容・支援方法 | 研修 | 職員 20人 |
| 42 | 2月24日(金) 12:30~14:30 | 公立 | 大町幼 | 保護者支援 | 研修 講演 | 職員 5人 保護者 27人 |
| 43 | 2月27日(月) 12:30~15:30 | 公立 | 大町幼 | 保護者支援 | 研修 講演 | 職員 5人 保護者 26人 |
| 44 | 2月27日(月) 14:30~17:00 | 公立 | 基町幼 | 保育者の資質向上 | 研修 | 職員 7人 |
| 45 | 2月27日(月) 14:30~16:30 | 公立 | 矢賀幼 | その他(学校評価) | 研修 | 職員 5人 |
| 46 | 2月28日(火) 9:30~11:30 | 公立 | 安西幼 | 保育者の資質向上 幼保小連携 | 研修 | 職員 7人 園児 51人 |
| 47 | 3月1日(水) 10:00~15:00 | 公立 | 草津保 | 教育・保育の内容・支援方法 特別支援教育 | 研修 | 職員 8人 園児 55人 |
| 48 | 3月1日(水) 9:30~11:30 | 公立 | 大町幼 | 教育・保育の内容・支援方法 保護者支援(幼児のひろば) | 保護者相談 研修 | 未就園児 10人 保護者 8人 |
| 49 | 3月1日(水) 14:30~15:30 | 公立 | 大町幼 | 教育・保育の内容・支援方法 保護者支援 | 研修 | 職員 5人 |
| 50 | 3月2日(木) 18:00~20:00 | 公立 | 中野保 | 保護者支援 | 研修 | 職員 10人 |
| 51 | 3月2日(木) 18:15~20:15 | 公立 | 中筋保 | 教育・保育の内容・支援方法 特別支援教育 | 保護者相談 | 職員 30人 |
| 52 | 3月3日(金) 9:00~12:00 | 公立 | 落合東幼 | 教育・保育の内容・支援方法 保護者支援(幼児のひろば) | 保護者相談 | 未就園児 10人 保護者 10人 |
| 53 | 3月7日(火) 9:30~11:30 | 公立 | 船越幼 | 特別支援教育 発達や学びの連続性 | 研修 | 職員 7人 未就園児 22人 |
| 54 | 3月8日(水) 14:00~15:00 | 公立 | 基町幼 | 幼児教育保育の研修 | 研修 | 職員 7人 未就園児 15人 保護者 15人 |

④ 先進地の視察

幼児教育センターの設置や幼児教育アドバイザー派遣を効果的に実施している自治体を訪問し、好事例等の情報収集を行った。

【視察地】※幼児教育センター未設置

| | |
|---------------------|-----------------------|
| 群馬県幼児教育センター | 平成 28 年 10 月 27 日 (木) |
| 前橋市幼児教育センター | 平成 28 年 10 月 27 日 (木) |
| 前橋市立下川淵小学校 | 平成 28 年 10 月 27 日 (木) |
| 栃木県幼児教育センター | 平成 28 年 10 月 28 日 (金) |
| 奈良市役所子ども未来部こども園推進課※ | 平成 28 年 11 月 21 日 (月) |
| 福井県幼児教育支援センター | 平成 28 年 11 月 22 日 (火) |
| 北九州市教育委員会幼児教育支援室 | 平成 29 年 1 月 12 日 (木) |

⑤ 成果の普及

- 本市HPによる情報発信や近隣の地方公共団体に報告書等を配付
- 「広島市幼児教育講演会」において、調査研究の取組を周知した。
- 広報番組や広報紙を活用し、幼児教育アドバイザー派遣について広く市民に周知した。

-
- ◇ 資料 9 幼児教育アドバイザー設置要綱 p. 35
 - ◇ 資料 10 幼児教育アドバイザー実施要領 p. 36
 - ◇ 資料 11 幼児教育アドバイザー訪問依頼書 p. 37
 - ◇ 資料 12 幼児教育アドバイザー訪問実施報告書 p. 38
 - ◇ 資料 13 平成 28 年度 幼児教育アドバイザー一覧 p. 39
 - ◇ 資料 14 平成 28 年度 幼児教育アドバイザー派遣案内 p. 40
 - ◇ 資料 15 幼児教育アドバイザー訪問実施報告書 (抜粋) p. 41 ~ p. 43
 - ◇ 資料 16 広報ひろしま「市民と市政」(平成 29 年 2 月 15 日号) p. 44
 - ◇ 広島市広報番組 <http://www.htv.jp/ikkenrakutyaku/170205.html>

成果と課題

【調査研究の成果】

(1) 「幼児教育の推進体制構築に向けた懇談会」（調査研究実行委員会）の設置

- 幼児教育センターの役割や機能、幼児教育アドバイザーの役割等について関係団体の代表者から広く意見を聴取し、検討を重ねてきたことから、本市に必要な幼児教育センターの役割や機能、幼児教育アドバイザーの役割等について、関係団体との共通理解を深めることができた。
- 「幼児教育アドバイザーの役割」、「教諭・保育士等の研修」、「保幼小の接続」について、今年度の取組状況を踏まえた論点整理を行ったことで、調査研究を進めていく上での課題を整理することができた。この課題を踏まえ、次年度からの事業実施の充実にに向けた意見交換が行えた。

(2) 「幼児教育支援協議会」の設置

- 所管が異なる、公立・私立の幼稚園、保育園、認定こども園等に関し、教育委員会事務局とこども未来局が連携・協働して、
 - ・ 幼児教育センターの機能や役割について
 - ・ 幼稚園教諭（保育教諭を含む）、保育士の資質・能力の向上に向けた体系的な研修について
 - ・ 幼児教育アドバイザーの役割や活用促進に向けた方策について検討を進めることができた。
- 既存部署の連携等により幼児教育センターの課題が整理でき、幼児教育センター機能の必要性について関係者が共通認識をもつことができた。

① 幼児教育センター機能と役割についての検討

- 先進地視察により、幼児教育センターの機能と役割について情報を収集することができた。また、幼児教育アドバイザー派遣についての好事例を本市の取組の参考とすることができた。

② 幼稚園教員（保育教諭を含む）、保育士の資質・能力の向上に向けた体系的な研修計画の策定に向けた検討

- 「研修に関する連絡協議会」を設置し、広島市における幼稚園教諭、保育士等の研修の現状と今後の研修の在り方について、関係団体代表や学識経験者から意見聴取を行うことができた。
- 公立・私立の幼稚園、保育園、認定こども園等が行っている研修内容についての洗い出しが行えたことで、それぞれの研修内容や実施上の課題等の共有化が図られた。

- 幼稚園、保育園、認定こども園、小学校の保育士や教諭が共通に受講する講座についての必要性を議論することができた。
- 平成 29 年度以降、幼児教育・保育に携わる新規採用者が一堂に会する研修を実施する方向性を確認した。

③ 幼児教育アドバイザーの人選・活用

- 各団体の代表者を「幼児教育の推進体制構築に向けた懇談会」（調査研究実行委員会）や事業推進のために設置した協議会の構成員として、ともに幼児教育アドバイザーの役割等についても協議・検討を行ってきたことから、団体関係者の理解や協力も得られやすくなり、ニーズの発掘も行えた。
- 今年度は幼児教育アドバイザーを 15 名委嘱しており、各園のニーズに応じて、派遣できる体制を整えることができた。また今年度は、求められる幼児教育アドバイザーの役割等を広く把握するためにも、15 名以外の人材を幼児教育アドバイザーとして派遣できる体制をとることができた。
- 大学教授や幼稚園、保育園の園長、教育委員会の指導主事等を経験した幼児教育の知識と経験豊富な幼児教育アドバイザーが確保できた。
- 関係団体と幼児教育アドバイザーの役割等について、共通理解が図られたことから、平成 29 年 1 月から幼児教育アドバイザーの活用が大幅に増加した。

□ 幼児教育アドバイザーの派遣回数 (回)

| 年 月 | 公幼 | 私幼 | 公保 | 私保 | 私認こ | 計 |
|--------------|----|----|----|----|-----|----|
| 平成 28 年 11 月 | 4 | — | — | — | — | 4 |
| 平成 29 年 1 月 | 5 | 3 | 1 | — | — | 9 |
| 平成 29 年 2 月 | 25 | 1 | 6 | 1 | — | 33 |
| 平成 29 年 3 月 | 5 | — | 3 | — | — | 8 |
| 合 計 | 39 | 4 | 10 | 1 | — | 54 |

- 本市の広報テレビ番組や広報紙を活用したことが活用の促進に繋がっている。
- 幼児教育アドバイザー連絡協議会を開催したことで、幼児教育アドバイザーの役割等についての共通理解や訪問に際しての留意点等が確認でき、幼児教育アドバイザー派遣に対する訪問園の安心感に繋がった。

【本市の私立の幼稚園・保育園等が求める幼児教育アドバイザーの役割】

幼児教育アドバイザーは研修講師等の役割にあわせ、教師や保育士等の保育についての相談や悩みへの対応、園の良さ（強み）を今後更に伸ばしていくことに焦点をあてたアドバイスを行うなど、各園の変容を評価し、教師や保育士等の教育・保育に対する意欲が高まるような助言等に努めている。そのためには事前に訪問園の園長（経営者）との綿密な打合わせを行う時間の確保や事後の継続的な訪問が必要となっている。

④ 先進地の視察

- 先進地視察により、幼児教育センターの機能と役割について情報を収集することができた。また、幼児教育アドバイザー派遣についての好事例を本市の取組の参考とすることができた。(再掲)

⑤ 成果の普及

- 「広島市幼児教育講演会」において、調査研究の取組を周知した。今年度は例年の参加者を大きく上回る 138 名（公立・私立の幼稚園、保育園、認定こども園）が参加した。
- 広報番組や広報紙を活用し、幼児教育アドバイザー派遣について広く市民に周知することができた。

【今後の課題】

(1) 「幼児教育支援協議会」のあり方について

- 「広島市幼児教育支援協議会」は専任の職員を配置せず既存部署の連携等により、幼児教育センターとしての機能を担うこととしたが、各担当の既存業務が増加する中で本事業を推進しているため、業務遂行を円滑に行えない場合がある。
- 組織上、協議会として位置付けているため、関係者間での「報告・連絡・相談」業務を円滑に行えない場合がある。このため取組に係る「課題の共有化」や「取組の方向性」についての共通認識が十分に図られにくい状況となっている。
- 各部署間での業務分担や関係団体との連絡・調整に多くの時間を要している。

[課題を踏まえた改善点]

- ・ ワーキング会議を活用し、関係者のビジョンの共有化を図るとともに、教育委員会事務局内の主管課のマネジメント力の強化を図る。
- ・ 本市における幼児教育センターの具体的な役割や機能について整理し、設置に向けた素案を検討し、平成 29 年度上半期には設置に向けた方向性を示す予定である。

(2) 幼児教育アドバイザーの活用

- 私立の幼稚園、保育園における幼児教育アドバイザーの活用を促進するため、派遣に係る好事例を多方面に広報する必要がある。
- 幼児教育アドバイザー活用の効果を図る指標について、早急に整理する必要がある。そのためにも現在、園の依頼によって派遣している体制にあわせ、課題解決や園の良さを伸ばす取組等での幼児教育アドバイザーの活用を充実させニーズ把握を深めたい。
- 育成研修計画の策定にあわせ、幼保小接続カリキュラム普及に向けた研修計画についての検討及び幼保小接続カリキュラム普及に向けた幼児教育アドバイザーの活用についての検討を早急に実施する必要がある。

(3) 成果の普及

- 本市HPによる情報発信を充実する必要がある。
- 各園の幼児教育アドバイザー活用の効果や好事例についての情報収集と発信に努める。
- 「広島市幼児教育の推進体制構築事業シンポジウム」を開催し、調査研究の成果を広く発表する。

-
- ◇ 資料 17 幼稚園教諭・保育士等の研修分類 p. 45, p. 46
 - ◇ 資料 18 幼稚園教諭・保育士等の新規採用者研修分類（案） p. 47, p. 48
 - ◇ 資料 19 平成 29 年度 広島市における幼稚園教諭・保育士等の研修体系図（案） p. 49
 - ◇ 資料 20 平成 28 年度の論点整理（たたき台） p. 50
 - ◇ 参考資料 幼児教育の推進体制構築事業委託要項 他 p. 51～p. 55